

「(仮称)街路樹マネジメント方針」について

平成31年 3月14日
第82回杜の都の環境をつくる審議会

1

目 次

- 1 前回(第81回審議会)の振り返り
- 2 (仮称)街路樹マネジメント方針の概要
- 3 みどりを取り巻く社会状況・今後のまちづくりの方向性
- 4 重視する視点
- 5 基本方針
- 6 基本施策
- 7 まとめ
- 8 作成スケジュール

2

1 前回（第81回審議会）の振り返り

◆街路樹の管理及び利活用における課題

管 理	<ul style="list-style-type: none">①道路空間（道路幅員や架空線等）や地域特性に応じた育成管理を行うこと。②根上がり・根詰まり・樹勢不良・基準不適合箇所対策等を行い、安全な通行を確保すること。③限られた財源の中で、効率的かつ質の高い剪定等の管理を行うこと。④剪定技術・管理監督技術の向上や技術者の後継者育成を行うこと。⑤市民や企業との協働による管理を進めること。
利活用	<ul style="list-style-type: none">①街路樹が持つみどりの機能を、有効に活用すること。②都市資源としての価値を高め、内外に発信すること。③剪定枝や伐採木について、新たなリサイクルの取組みを行うこと。

3

1 前回（第81回審議会）の振り返り

◆（仮称）街路樹マネジメント方針の作成について

<現状と課題>

- ・街路樹の管理及び利活用に関する様々な問題の発生
- ・現行計画において街路樹に関する方針の記載がない



<今後の方向性>

街路樹を適正に管理し、都市の魅力を向上させる資源として活用するため、街路樹の今後のあり方に関する方針の策定が必要



（仮称）街路樹マネジメント方針の作成

4

2 (仮称) 街路樹マネジメント方針の概要

◆方針の概要

○目的

街路樹を生かしたまちづくりを推進するための街路樹の管理，利活用に関する指針であり，街路樹を都市の資産として，以下の2点を行うことを目的とする。

- ①適切な維持管理を行うことで，その価値を維持向上させること。
- ②街路樹が持つ多様な機能をより有効に活用することで，都市の魅力を向上させること。

○対象

本市が所管する全街路樹

○構成

- ①概要
 - ②みどりを取り巻く社会状況・今後のまちづくりの方向性
 - ③街路樹の機能
 - ④街路樹の現状
 - ⑤街路樹の課題・重視する視点
 - ⑥基本方針
 - ⑦基本施策
- ※本方針に基づく事業実施レベルの計画は別途作成予定

5

2 (仮称) 街路樹マネジメント方針の概要

○位置付け

仙台市みどりの基本計画（平成24年度～平成32年度）

<基本理念> みんなで育む百年の杜

<基本方針>

- I.安全・安心のまちづくり
- II.自然環境の保全・再生
- III.生活環境の向上
- IV.仙台らしさを育む
- V.市民協働の推進

<百年の杜づくりプロジェクト>

- ①みどりによる津波防災プロジェクト
- ②みどりの骨格充実プロジェクト
- ③街のみどり充実プロジェクト
道路緑化事業，街路樹重点管理事業等
- ④魅力ある公園づくりプロジェクト
- ⑤みどりの地域資源活用プロジェクト
- ⑥「百年の杜」シンボルエリア形成プロジェクト
- ⑦市民主体のみどりのまちづくりプロジェクト

街路樹施策に係る事業実施のための
総合的な指針

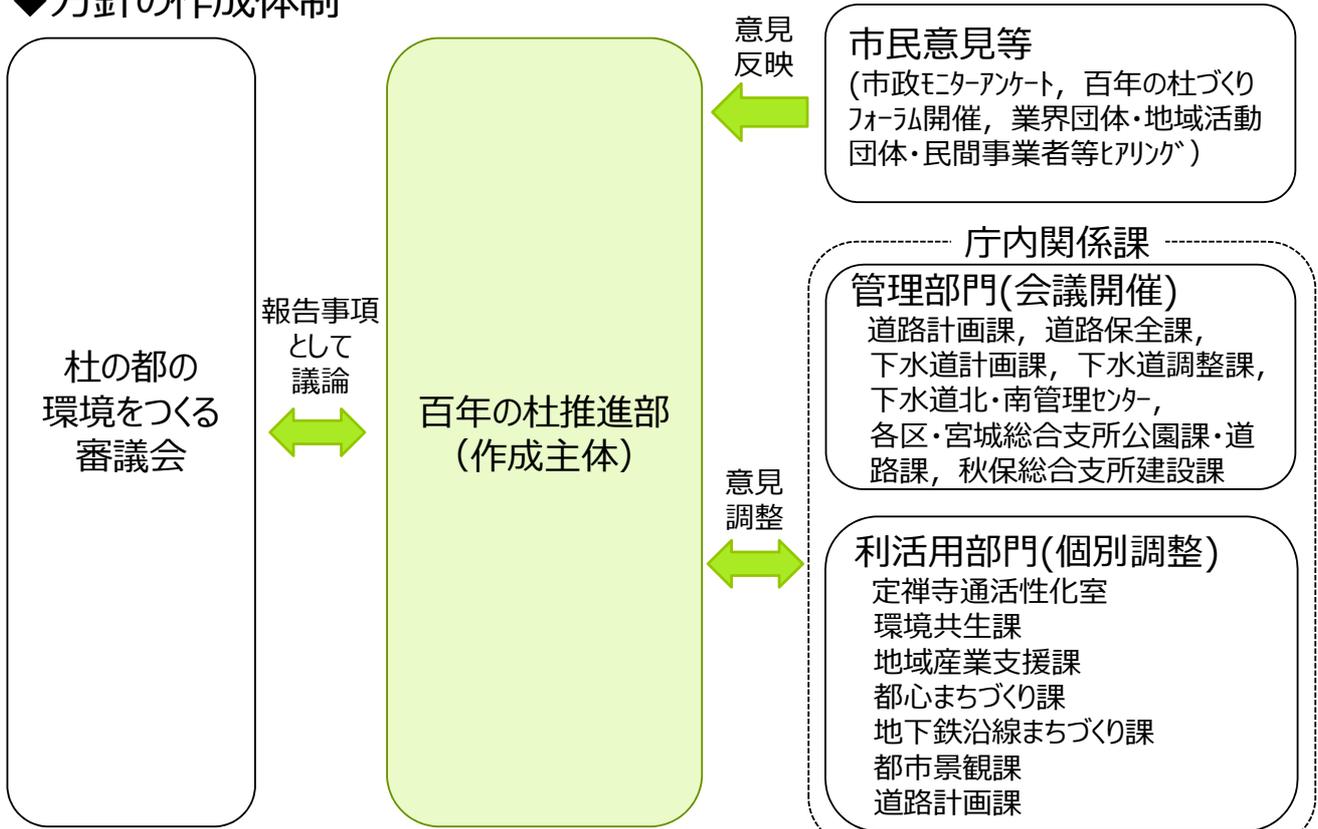


(仮称)街路樹マネジメント方針

6

2 (仮称) 街路樹マネジメント方針の概要

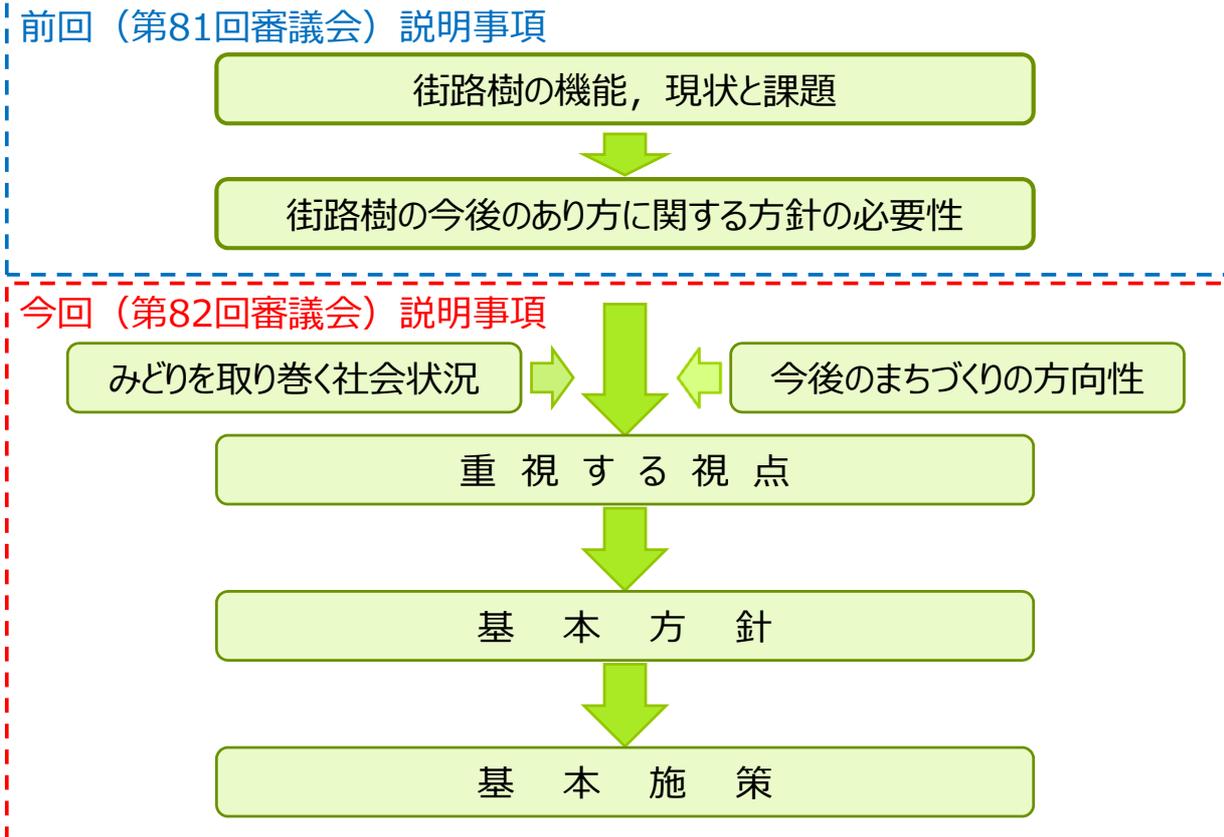
◆方針の作成体制



7

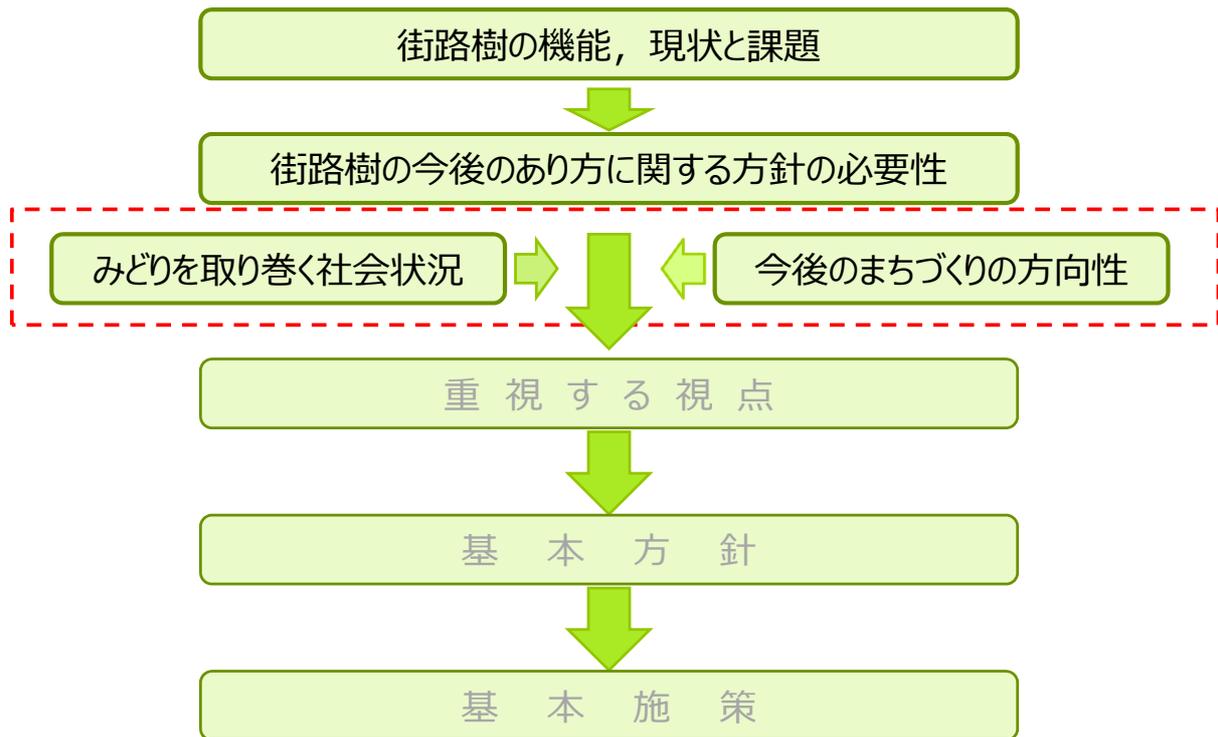
2 (仮称) 街路樹マネジメント方針の概要

◆方針の構成 (案)



8

3 みどりを取り巻く社会状況・今後のまちづくりの方向性



9

3 みどりを取り巻く社会状況・今後のまちづくりの方向性

◆みどりを取り巻く社会状況

- ①人口減少・少子高齢化の進行
⇒管理の担い手不足, 税収減による管理費減
- ②環境問題の深刻化
⇒酷暑による熱中症患者の増加, 豪雨や強風による被害の増加,
都市の生物多様性の低下
- ③国内外の交流人口の拡大
⇒東北地方の交流拠点, 地域資源の発掘や都市魅力向上等の取組み
- ④経営資源の制約
⇒社会保障費等の義務的経費の増大, 街路樹の成長や公共施設の
老朽化に伴う維持管理費の増大

10

3 みどりを取り巻く社会状況・今後のまちづくりの方向性

◆今後のまちづくりの方向性

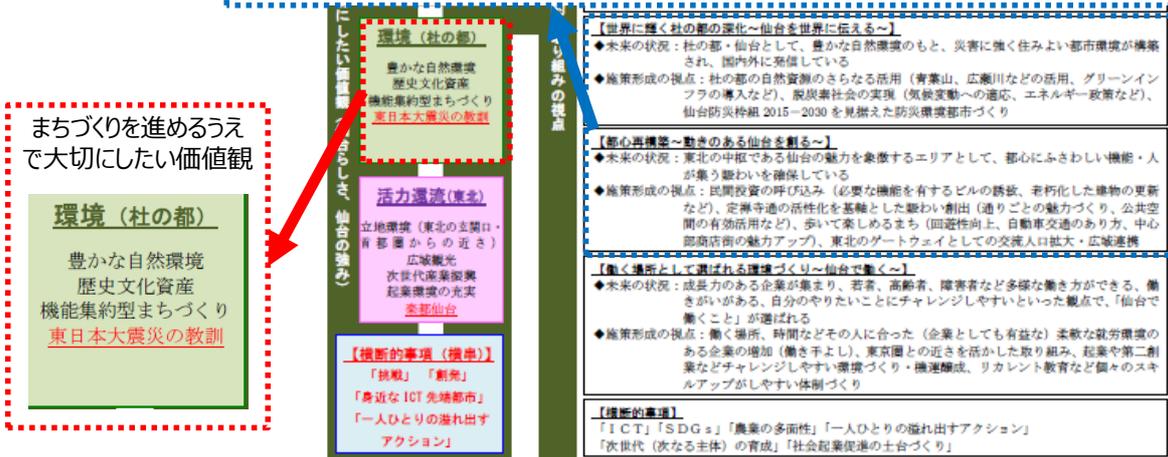
重点的な取り組みの視点

【世界に輝く杜の都の深化～仙台を世界に伝える～】

- ◆未来の状況：杜の都・仙台として、豊かな自然環境のもと、災害に強く住みよい都市環境が構築され、国内外に発信している
- ◆施策形成の視点：杜の都の自然資源のさらなる活用（青葉山、広瀬川などの活用、グリーンインフラの導入など）、脱炭素社会の実現（気候変動への適応、エネルギー政策など）、仙台防災枠組 2015-2030 を見据えた防災環境都市づくり

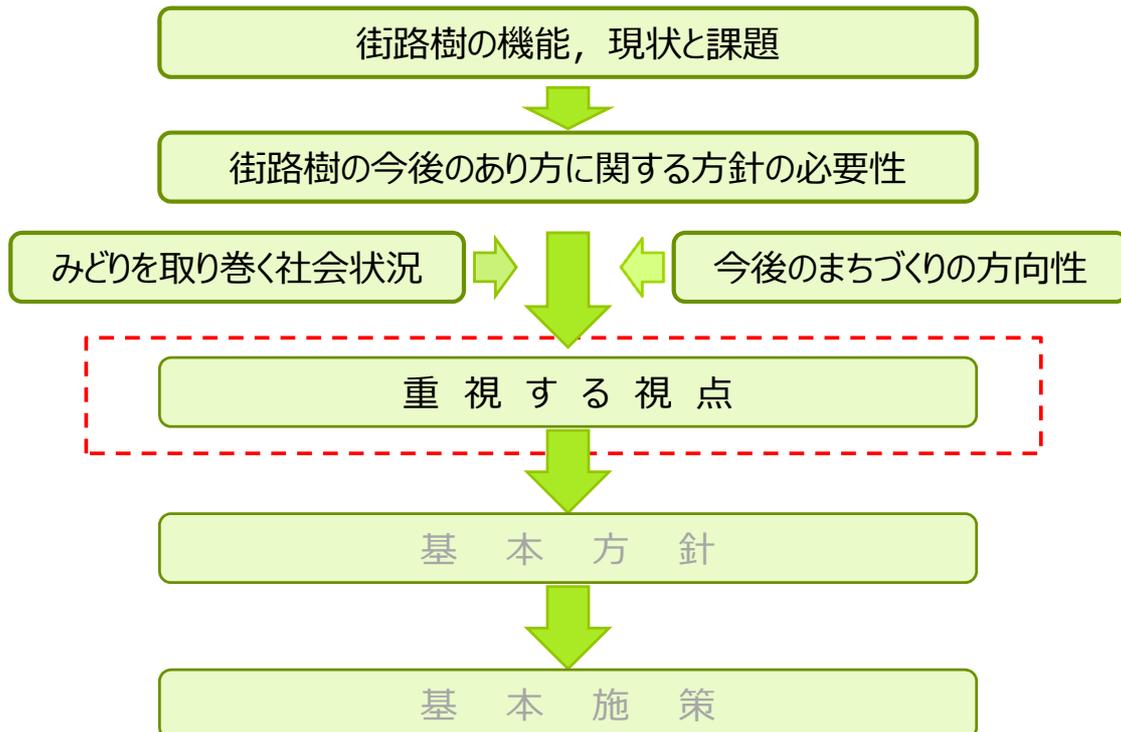
【都心再構築～動きのある仙台を創る～】

- ◆未来の状況：東北の中核である仙台の魅力象徴するエリアとして、都心にふさわしい機能・人が集う賑わいを確保している
- ◆施策形成の視点：民間投資の呼び込み（必要な機能を有するビルの誘致、老朽化した建物の更新など）、定禅寺通の活性化を基軸とした賑わい創出（通りごとの魅力づくり、公共空間の有効活用など）、歩いて楽しめるまち（回遊性向上、自動車交通のあり方、中心部商店街の魅力アップ）、東北のゲートウェイとしての交流人口拡大・広域連携



※第3回仙台市総合計画審議会(H31.1.31開催)資料より作成

4 重視する視点



4 重視する視点

◆重視する視点について

本市の街路樹の現状や課題に対して、みどりを取り巻く社会状況や今後のまちづくりの方向性を踏まえ、街路樹の管理や利活用を行う上で、重視する視点

①安全で質の高い樹木管理

安全な道路空間を確保するための街路樹管理を進めるとともに、みどりが持つ多様な機能が活かされるように、都心部や住宅地等における植栽環境や地域特性に応じた質の高い街路樹育成を行うこと。

②都市ブランドの向上

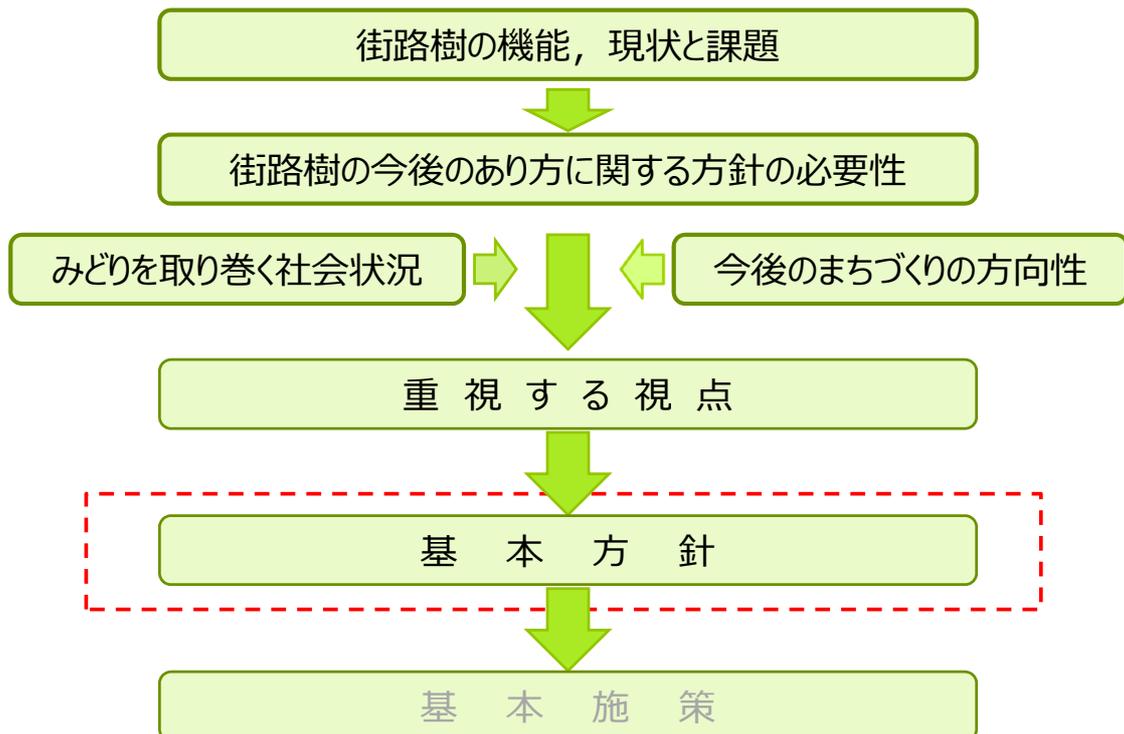
街路樹の効用や魅力を積極的にPRすること及び街路樹を有効に活用することで、市民が街路樹について身近にある貴重なみどりとして愛着を持ち、来訪者は街路樹を通じて本市の魅力が感じられるように、都市ブランドを向上させること。

③多様なパートナーとの連携

市民共有の財産である街路樹について、地域団体や市民活動団体、民間事業者等の多様なパートナーと連携して、管理及び利活用すること。

13

5 基本方針



14

5 基本方針

◆基本方針

価値の維持向上

基本方針 1：総合的な街路樹管理の推進

根上がり・根詰まり・基準不適合箇所の安全対策を進めるとともに、街路樹データを活用した計画的かつ効率的な管理を行い、貴重なみどりの資産として、価値の維持向上を図る。

基本方針 2：街路樹の質の向上

質の高い剪定技術により、道路空間や樹種に応じた樹木剪定を行うとともに、様々なパートナーと連携したきめの細かい管理を行うことで、「杜の都」にふさわしい街路樹空間を創出する。

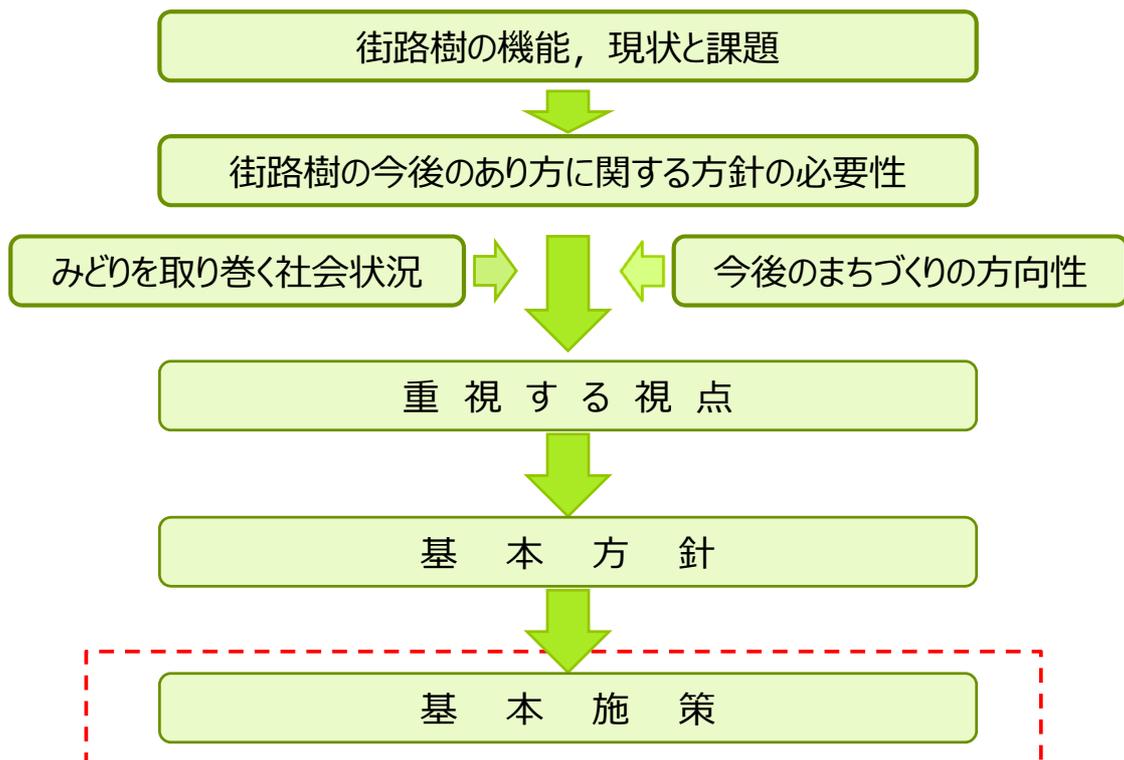
利活用による都市の魅力向上

基本方針 3：街路樹による「杜の都」ブランド強化

街路樹の多機能性の発揮や空間活用により、都市ににぎわいを創出するとともに、街路樹の魅力を内外に発信することで、「杜の都」の都市ブランドを強化する。

15

6 基本施策



16

6 基本施策

◆「基本方針 1」に係る基本施策について

基本施策	
総合的な 街路樹管理の 推進 基本方針 1	①街路樹データの一元管理及び活用 基礎調査結果や健全度調査結果等の街路樹データを台帳管理システムにより一元管理を行うとともに、街路樹データを公開する等、有効に活用することで管理の円滑化を図る。
	②街路樹管理による道路空間の安全性の確保 根上がり・根詰まり・基準不適合箇所対策を進める等、街路樹に係る道路空間の安全性を確保する。
	③総合的な街路樹管理計画の作成・運用 道路空間や地域特性等に応じた路線ごとの管理目標を立て、街路樹の成長や地域要望等を踏まえた計画的で効率的な街路樹管理を実施する。

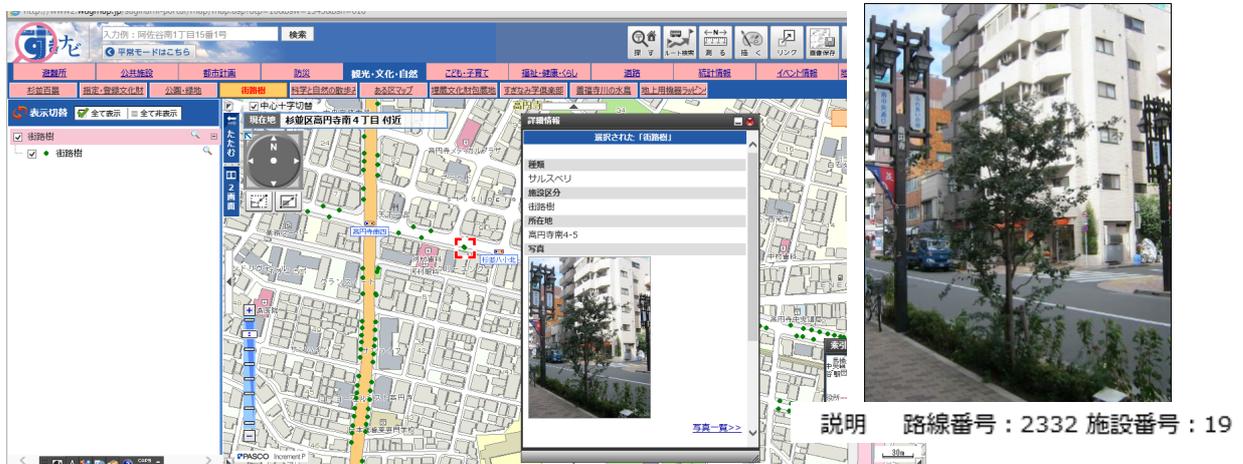
17

6 基本施策

◆①「街路樹データの一元管理及び活用」に係る取組み事例

他都市事例（東京都杉並区）

・「すぎナビ」による情報公開



【図】すぎナビ（地図情報システム）

出典：杉並区役所HP

街路樹に係るデータを一元的に管理し、「樹種」、「所在地」、「画像」、「施設番号」を表記した電子地図を一般公開することで、住民からの問い合わせや苦情への対応を円滑に進めている。

18

6 基本施策

◆②「街路樹管理による道路空間の安全性の確保」に係る取組み事例

他都市事例（愛知県名古屋市）

・「街路樹再生指針」に基づく更新・撤去



【図】更新のイメージ

【更新対象の視点】

- ・樹木の老朽化・大木化
- ・根上がり
- ・地域要望が強い
- ・剪定頻度が高い 等

【撤去対象の視点】

- ・基準不適合箇所
- ・交通標識等の視距障害
- ・植栽間隔が基準より狭い
- ・公園の緑と競合している等撤去しても十分な緑が確保できる 等

出典：街路樹再生指針（名古屋市）

安全な道路空間を確保するため、街路樹の状態について客観的な指標を設定し、全路線の数値評価を行うことで、対応の優先順位を決め、計画的な更新や撤去を行っている。

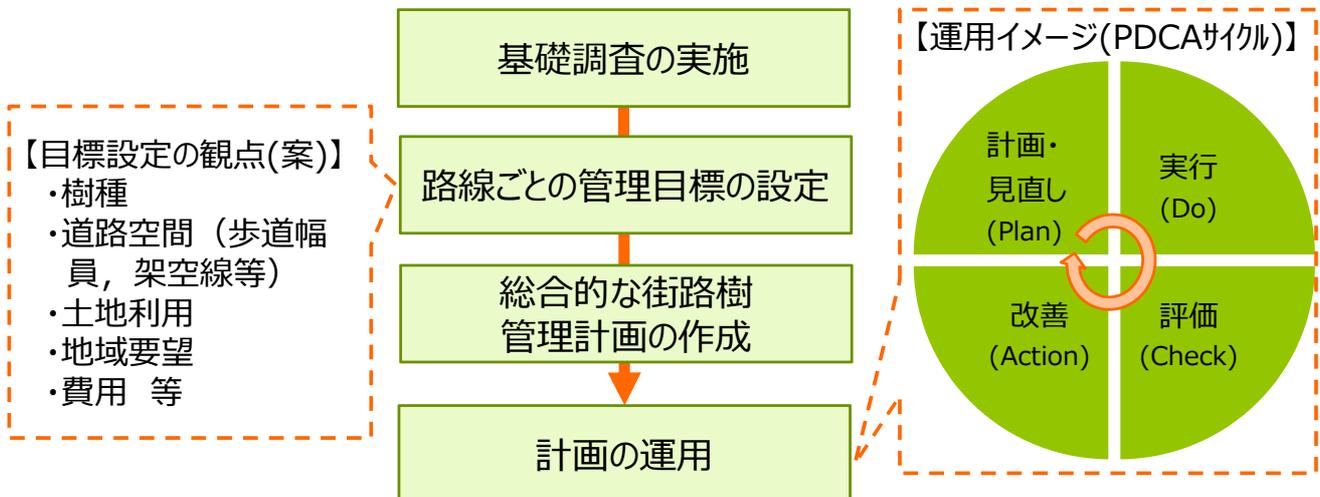
19

6 基本施策

◆③「総合的な街路樹管理計画の作成・運用」に係る取組み事例

取組みイメージ

・街路樹総合管理計画による計画的・効率的な管理



植栽環境や地域特性等に応じて路線ごとの管理目標を設定し、街路樹全体について総合的な管理計画を定め、適宜見直しを行いながら、運用することで、効率的な管理を行う。

20

6 基本施策

◆「基本方針 2」に係る基本施策について

基本施策	
基本方針 2 街路樹の質の向上	④管理業務の新たな仕組みの構築 業務委託について、より質の高い管理を実現するために、成績評価の仕組みの導入や委託方法の見直し等について検討を行う。
	⑤剪定技術の向上・継承 受発注者間で目標となる剪定技術を共有し、講習会等を通じて、剪定技術や業務管理監督技術の向上・継承を図る。
	⑥市民協働による管理の推進 地域団体や市民活動団体、民間事業者等の多様な主体と連携し、多様な協働手法によりきめ細かい管理を行う。

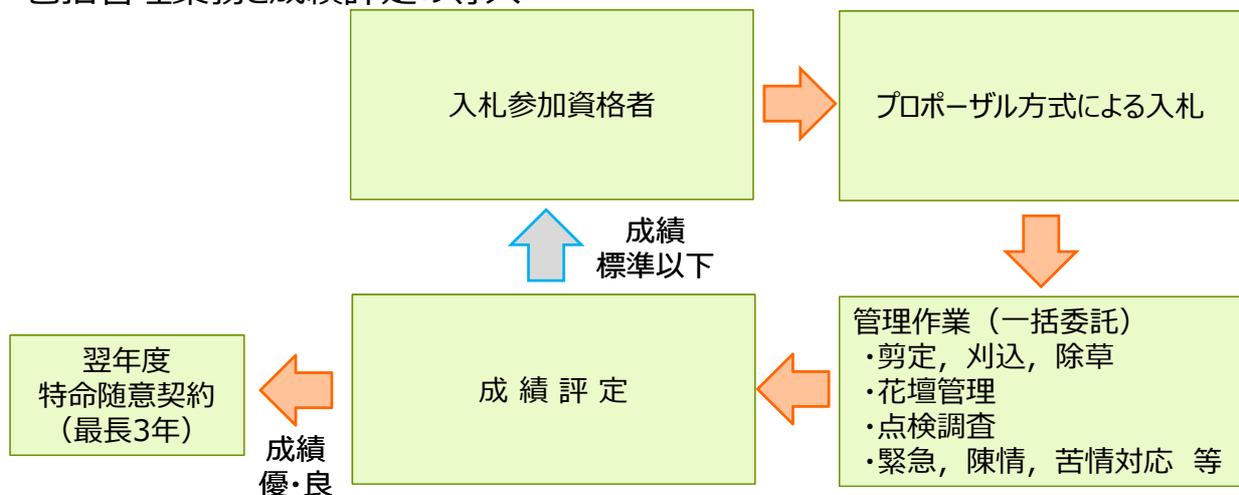
21

6 基本施策

◆④「管理業務の新たな仕組みの構築」に係る取組み事例

他都市事例（東京都江戸川区）

・包括管理業務と成績評定の導入



【図】管理業務委託のフロー

資料：江戸川区担当者へのヒアリングを元に作成

管理業務の包括的な発注や成績評価制度の導入等により、業務効率の向上や迅速化を図ることで計画的な対応が進められるとともに、受注者のノウハウが発揮されやすく、質の高い街路樹管理を実践している。

22

6 基本施策

◆⑤「剪定技術の向上・継承」に係る取組み事例

他都市事例（東京都江戸川区）

・「見本剪定講習会」



【写真】講習会の開催状況と最優秀剪定木

資料提供：江戸川区

造園業者と自治体職員が参加する講習会を行うことで、受発注者間で剪定の考え方を共有でき、また業者間で剪定技術を競うことで、剪定技術のレベル向上につなげている。

23

6 基本施策

◆⑥「市民協働による管理の推進」に係る取組み事例

他都市事例（京都府京都市）

・「街路樹サポーター制度」, 「あなたもまちの樹ペアレント制度」

	趣旨	制度内容
街路樹サポーター制度（H18.4）	街路樹の良好な育成とその周辺部の美化活動を行う制度。	<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹と周辺部の美化活動（落ち葉清掃，除草） ・街路樹の落下枝，病虫害等に関する情報提供 ・植樹帯への草花植栽等の緑化活動（事前協議有）
あなたもまちの樹ペアレント制度（H29.9）	街路樹の育成に対する協賛金を受付ける制度。	<ul style="list-style-type: none"> ・3m以上の高木を対象に1本1万円以上を育成費用として募集（寄附金控除の対象）。 ・街路樹がある道路沿道に事務所，事務所等を構える企業，団体及び個人を対象とし，協賛した者は企業名等を記載した木製プレートを街路樹に取り付けることができる。

出典：京都市HP

サポーター制度により多様な主体が管理に関わり、またペアレント制度による寄附等、街路樹管理について多面的な関わりが可能となっている。

24

6 基本施策

◆「基本方針3」に係る基本施策について

基本施策	
基本方針3 街路樹による ブランド強化	⑦みどりの多機能性を生かした都市空間の質の向上 グリーンインフラ*としての街路樹が持つ多様な機能を生かし、ヒートアイランド現象の緩和や生物多様性の保全、良好な景観形成等の都市空間の質の向上を図る。
	⑧街路樹空間の利活用による都市のにぎわいの創出 街路樹のある道路空間の利活用を誘導することで都心の回遊性を高め、地域コミュニティを増進する等、都市のにぎわいを創出する。
	⑨剪定枝等の有効活用による環境負荷の低減 剪定枝葉や更新に伴う伐採木の有効活用を進め、環境負荷を低減するとともに、幅広く活用することで、身近に感じる機会を提供する。
	⑩街路樹の情報発信・普及啓発 街路樹の効用や歴史、見所等について、様々な媒体を通じた情報発信を行い、積極的にPRすることで、市民や来訪者に「杜の都」の魅力を伝える。

*社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能（生物の生息の場の提供、良好な景観形成、気温上昇の抑制等）を活用し、持続可能で魅力ある国土づくりや地域づくりを進めるもの（H29.3 国土交通省）

25

6 基本施策

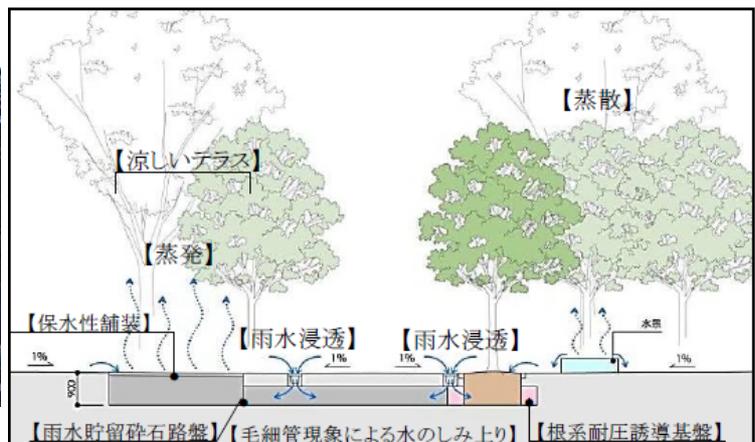
◆⑦「みどりの多機能性を生かした都市空間の質の向上」に係る取組み事例

他都市事例（神奈川県横浜市）

・グランモール公園の広場整備



【写真】グランモール公園の広場



出典：横浜市記者発表資料

緑陰だけではなく、植樹帯（地下）からの雨水のしみ上がりによる蒸発や旺盛に生育する樹木からの蒸散作用を活用して、夏でも涼しい空間を創出している。

26

6 基本施策

◆⑧「街路樹空間の利活用による都市のにぎわいの創出」に係る取組み事例

他都市事例（兵庫県神戸市）

- ・ KOBE Parklet（こうパークレット）



【写真】KOBE Parklet

出典：神戸市HP

緑陰のある歩道上に設置されたベンチ等の滞留スペースにより、都心の憩い・にぎわい空間を創出し、歩行者の通行量が増加し、まちの回遊性を向上させている。

27

6 基本施策

◆⑨「剪定枝等の有効活用による環境負荷の低減」に係る取組み事例

他都市事例（神奈川県横浜市，東京都江戸川区）

- ・リサイクル，伐採木利活用の取組み



【図】横浜動物の森公園 緑のリサイクルプラント

出典：横浜市グリーン事業協同組合HP



【写真】伐採木の利活用

資料提供：江戸川区

街路樹や公園樹の剪定枝や伐採木について、土壌改良材やマルチング材として利用し、環境負荷を低減している。また公園ベンチや園名板等として利活用することで、大切なみどりとして形を変えて地域住民に親しまれている。

28

6 基本施策

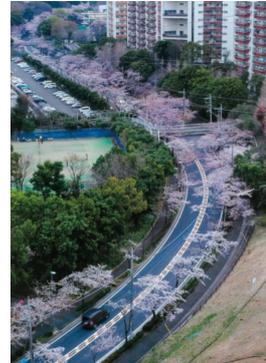
◆⑩「街路樹の情報発信・普及啓発」に係る取組み事例

他都市事例（神奈川県）

・「かながわ・街路樹フォトコンテスト」



【写真】第6回最優秀賞「ミラージュ」



【写真】第9回最優秀賞「S字のさくら路」

出典：「かながわ街路樹フォトコンテスト写真集」

日頃、何げなく見過ごしがちな街路樹を、四季折々の姿を写すことにより街路樹の大切さと必要性を再確認することを目的として、日本造園建設業協会神奈川県支部の主催で平成19年度から開催されており、5年に一度、入選作品をとりまとめた写真集が発刊されている。

29

7 まとめ

◆まとめ



30

8 作成スケジュール

